

平成 26 年 1 月 23 日

各 位

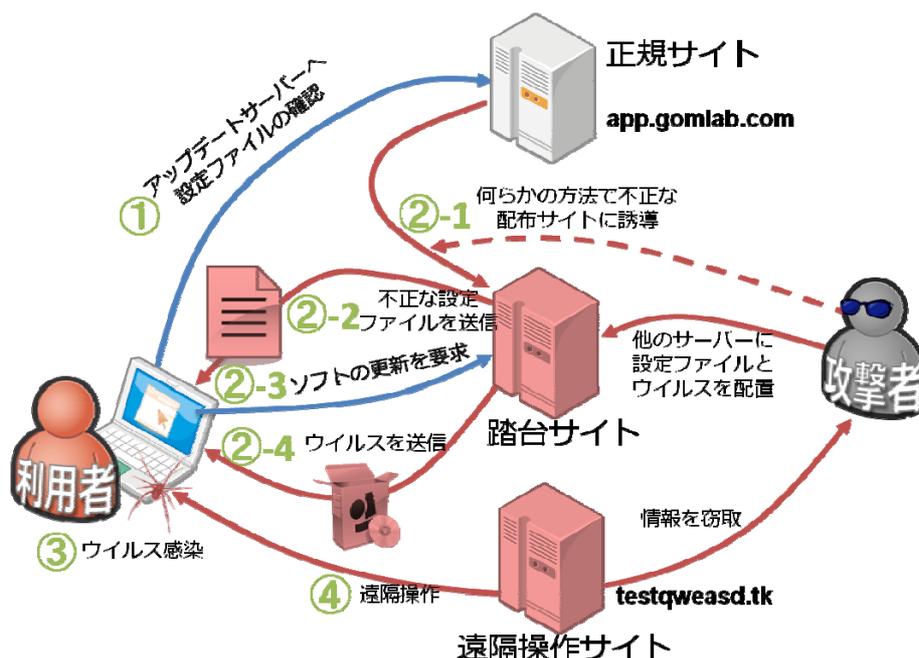
会社名 株式会社 ラック
 代表者名 代表取締役社長 高梨 輝彦
 (JASDAQ・コード番号：3857)
 問合せ先 理事 IR 広報部長 白石 通紀
 電 話 03 - 6757 - 0107

正規のソフトウェアのアップデートで、不正なプログラムが実行される事案の注意喚起

株式会社ラック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：高梨 輝彦、以下ラック）は、正規のソフトウェアのアップデートを装いコンピューターウイルスに感染させる、複数の事案を確認しました。当該ソフトウェアを使用しているお客様が、本事案の悪影響を受けていないかを確認する方法および、今後企業内で使用している正規ソフトウェアのアップデートにおいて同様の仕掛けがなされる危険性もあるため、あわせて注意喚起情報を公開しました。

本事案は、当社のセキュリティ監視センターJSOCにおいて、当社顧客のネットワーク環境よりインターネットに対して、定期的に発信される不正なデータ送信と考えられる通信を複数捕捉したことにより発覚しました。

この事案の報告を受け調査を開始したサイバー救急センターは、複数の組織のパソコンで、定期的な通信を行うコンピューターウイルスが動作していることを確認しました。調査の過程で感染経路の特定を行ったところ、正規のソフトウェアを最新版に更新するアップデート作業によってコンピューターウイルスに感染したことを確認いたしました。



本事案における脅威は、正規のソフトウェアのアップデートという、ユーザーには正否の判断を行うことができない状況で感染活動が行われることにあります。パソコンを使用しているユーザーは、OSやその他使用しているソフトウェアのアップデートを信頼し、ウイルス感染を警戒することはありません。また、アップデート時に実施確認を求められてもその危険を判断することは困難です。

今回の注意喚起情報では、事案に関する影響の確認方法および、ソフトウェアを使用しているユーザーに、同種の脅威の存在を周知する内容が記載されています。

正規のソフトウェアのアップデートで、不正なプログラムが実行される事案について

http://www.lac.co.jp/security/alert/2014/01/23_alert_01.html

以上